

# 最先端 AI 開発者・エージェント競合分析

## Perplexity

### エグゼクティブサマリー

最も明確な競争上の区分はもはや「どの基本モデルが最も賢いか」ではなく「どのプロバイダーが開発者に最も信頼性の高いエンドツーエンドのエージェント運用環境を提供するか」である。OpenAI は、GPT-5.5、Codex、Responses API ツール、ホスト型シェル、コンピュータの使用、MCP、スキル、サンドボックスインフラストラクチャを 1 つのスタックに統合することで、統一エージェント プラットフォームに最も急速に移行している ([OpenAI GPT-5.5 リリース](#)、[OpenAI API の変更履歴](#)、[OpenAI Agents SDK](#))

Anthropic は、コードベースレベルの開発者ワークフローにおいて依然として最も強力なスペシャリストです。これは、Claude Code が過去 12 か月で、CLI、GitHub Actions、MCP、権限、バックグラウンド エージェント、作業管理、エンタープライズ展開機能を大量に蓄積してきたためです。一方、Opus 4.7 は、長期的なコーディング、レビュー、検証動作に特化して調整されています ([Claude Code の変更履歴](#)、[クロード・オーパス 4.7 の発表](#)、[Claude Code GitHub Actions リリース](#))

Google はマルチモーダル規模、ワークスペース/バーテックス配信、Flash 経済性において競争力がありますが、その戦略的姿勢は同等性を追い求めるよりも信頼性を重視しているように見えます。証拠としては、単一のモノリシックな「Codex のような」開発者エクスペリエンスではなく、Gemini 3.1 Pro および Flash ファミリー モデルを中心としたモデルライフサイクル制御、プレビューから GA への移行、支出上限、ファイル検索の基盤、ポリシー エンジン、サンドボックス、コンテキスト圧縮、安全な起動しきい値の周期性が挙げられます ([Gemini API の変更履歴](#)、[Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro](#)、[Gemini 3.1 Pro モデルカード](#)、[Gemini CLI リリースノート](#))

### スコープと正規化

プロバイダー／製品	何を比較しているのか	正規化に関する注記
Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	高性能モデルとして Gemini 3.1 Pro、低遅延・低価格フラッシュメモリとして Gemini 3 Flash と Gemini 3.1 Flash-Lite が用意されています。	入手可能な公式証拠は、Gemini 3.1 Pro、Gemini 3 Flash、および Gemini 3.1 Flash-Lite を区別しています。したがって、比較では「Gemini 3.1 Pro/Flash」を単一のペアモデル SKU ではなく、Google の Pro+Flash ポートフォリオとして扱います ( <a href="#">Vertex AI 上の</a>

プロバイダー／製品	何を比較しているのか	正規化に関する注記
		<a href="#">Gemini 3.1 Pro</a> 、 <a href="#">ジェミニ 3 フラッシュ発表</a> 、 <a href="#">Vertex AI 搭載の Gemini 3.1 Flash-Lite</a>
OpenAI GPT-5.5	GPT-5.5 および GPT-5.5 Pro を最先端 API/ChatGPT/Codex モデルとして、Codex および Agents SDK と組み合わせて使用	GPT-5.5 はモデルですが、OpenAI の開発者にとっての利点は、周囲の Codex、Responses API、ホスト型ツール、サンドボックスオーケストレーションレイヤーにあります ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント</a> 、 <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> 、 <a href="#">OpenAI Agents SDK</a> )
人間中心主義的クロード・コード	開発者エージェント製品として Claude Code を使用し、現在 Sonnet や Opus 4.7 などの Claude モデルを採用している。	Claude Code は基盤モデルではなく、CLI、エージェント、SDK、GitHub Actions、エンタープライズ展開サーフェスであり、モデルのパフォーマンスは選択された Claude モデルと労力レベルに依存します ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">クロード・コード GitHub Actions</a> 、 <a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a> )

#### 競合分析表

メトリック	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
戦略的ポジショニング	Google は Gemini 3.1 Pro を、複雑なマルチモーダルタスク向けの最も高度な推論 Gemini モデルとして位置付けており、一方 Flash ファミリーモデルは、消費者、開発者、エンタープライズの各サーフェス全体で	OpenAI は、GPT-5.5 を複雑な専門業務、コーディング、コンピュータの使用、研究、データ分析のための最もスマートなモデルとして位置付けており、ChatGPT、Codex、および API サーフェスで利用可能です ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリース</a> 、 <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデル</a> )	Anthropic は、Claude Code を開発者エージェント層として、Opus 4.7 を高度なソフトウェアエンジニアリング、長時間実行タスク、自己検証、コードレビューに最適化された一般利用可能なモデルアップグレードとして位置付けています ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a> )

メトリック	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
	速度、拡張性、コスト効率をターゲットにしています ( <a href="#">Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro</a> 、 <a href="#">ジェミニ 3 フラッシュ発表</a> 、 <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	<a href="#">のドキュメント</a> )	
開発者ツール : CLI とローカルエージェント	Gemini CLI は、ファイル、シェル、ウェブフェッチ、メモリ、プランニング、MCP、拡張機能、ポリシー、サンドボックス、ワークツリー、ブラウザエージェント実装、および Gemini 3.1 Pro プレビューのサポートをサポートしており、多くのリリースで安全性と信頼性メカニズムが強調されています ( <a href="#">Gemini CLI リリースノート</a> )	Codex は、ChatGPT アカウントで接続された CLI、IDE、クラウド、GitHub、Slack、SDK、およびアプリのようなエクスペリエンスを提供します。一方、GPT-5.5 は、複雑なコーディング、コンピュータの使用、知識労働、および研究ワークフローに推奨される Codex モデルです ( <a href="#">コーデックス GA 発表</a> 、 <a href="#">コーデックスのアップグレード</a> 、 <a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリース</a> )	Claude Code は、セッション、バックグラウンド エージェント、サブエージェント、エージェントチーム、ワークツリーの分離、目標追跡、/ultrareview 作業管理、MCP 管理、権限、管理設定、GitHub Actions ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a> )
エージェントの機能	Gemini CLI は、2025 年後半から 2026 年初頭にかけて、todo プランニング、コードベース調査サブエージェント、エージェント スキル、汎用ルーター、プラ	OpenAI のエージェントスタックには、レスポンス API ツール、MCP、ホスト型シェル、パッチ適用、スキル、コンピュータの使用、ツール検索、Web 検索、構成可能なメモリ、制御された	Claude Code は、バックグラウンド ワーカー、エージェント チーム、サブエージェント ワークツリーの分離、/goalGitHub Actions での自動モード検出、モデル、労力、権限、MCP、およびプラグイン ディレ

メ ト リ ッ ク	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
	ン モード、ブラウザ エージェント実験、 A2A リモート エー ジェント サポート、サン ドボックス、コンテキ スト圧縮、メモリ管理 を追加しました ( <a href="#">Gemini CLI リリース ノート</a> )	サンドボックス、スナッフ ショット、再水和、永続実 行、並列サンドボックス実 行が含まれます ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> 、 <a href="#">OpenAI Agents SDK</a> )	クトリの構成フラグを追加しま した ( <a href="#">claude agents/ultrareview</a> <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a> )
モ デ ル の 遅 延 と 速 度 制 御	Gemini 3 Flash は「ス ピードのために構築さ れた最先端のインテリ ジェンス」として明確 に位置づけられており、 価格は入力トークン 100 万個あたり 0.50 ドル、出力トークン100 万個あたり 3 ドルで、 日常的なタスクでは Gemini 2.5 Pro よりも 3倍高速で、トークンの 使用量は 30%少ないと されています ( <a href="#">ジェミ ニ 3 フラッシュ発表</a> ) Gemini 3.1 Pro は MEDIUM、コスト、パ フォーマンス、および 速度のトレードオフを 調整するための思考レ ベルを追加し、一方	GPT-5.5 は、Codex タスク で使用するトークン数を減 らしながら、トークンあた りのレイテンシは GPT-5.4 と同等であると説明されて おり、Codex 高速モードは、 コストが 2.5 倍でトークン を 1.5 倍速く生成します ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリー ス</a> API は、優先度処理、 reasoning,effortnone から xhigh までのレベル、ツール 検索、圧縮、推論最適化を追 加し、エージェントワーク フローのレイテンシ予測性 を向上させます ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> 、 <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメ ント</a> )	Claude Code は/effortCLI の努 力フラグを公開し、Opus 4.7 で は xhighhigh と max の間にフラ グが追加され、Claude Code はすべてのプランで xhigh をデ フォルトにしています ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">クロード・オー ーパス 4.7 の発表</a> ) Anthropic は、 低労力の Opus 4.7 は中労力の Opus 4.6 とほぼ同等であり、93 タスクのコーディングベンチマ ークで平均レイテンシが速いと 主張している ( <a href="#">クロード・オーパ ス 4.7 の発表</a> )

メトリック	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
	Flash-Lite は、高スループットでコストに敏感なワークロード向けに配置されています ( <a href="#">Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro</a> 、 <a href="#">Vertex AI 搭載の Gemini 3.1 Flash-Lite</a> )		
推論：複数ステップのタスク	Gemini 3.1 Pro は、Google のモデルカード比較で ARC-AGI-2 で 77.1%、GPQA Diamond で 94.3%、Terminal-Bench 2.0 で 68.5%、SWE-Bench Verified で 80.6%、SWE-Bench Pro で 54.2%、MCP Atlas で 69.2%、BrowseComp で 85.9% を記録しました ( <a href="#">Gemini 3.1 Pro モデルカード</a> )	GPT-5.5 は Terminal-Bench 2.0 で 82.7%、SWE-Bench Pro で 58.6%、OSWorld-Verified で 78.7%、MCP Atlas で 75.3%、BrowseComp で 84.4%、ARC-AGI-2 で 85.0% を記録し、GPT-5.5 Pro は一部の調査/検索指標でより高いスコアを記録しています ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリース</a> )	Anthropic 社によると、Opus 4.7 は 93 タスクのコーディングベンチマークにおいて Opus 4.6 と比較して解像度が 13%向上しており、タスク予算管理、自己検証、パートナーレポートにおけるツールエラーの減少、および長時間のエンジニアリング作業における的を絞った改善が実現されている ( <a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a> )
長期的文脈とマルチモーダルティ	Gemini 3.1 Pro は、最大 1M トークンの入力ウィンドウと、テキスト、画像、音声、ビデオ、PDF、コードリポトリ全体を含むマルチモーダル入力をサポ	GPT-5.5 は、1,050,000 トークンのコンテキストウィンドウ、最大 128,000 の出力トークン、画像入力、およびファイル検索、Web 検索、コンピュータの使用、ホスト型シェル、パッチの適	Claude Code の価値は、宣伝されているコンテキスト番号よりも、圧縮、プロンプト キャッシュ、プロジェクト メモリ、ワークツリーの分離、MCP 結果の永続化、バックグラウンド セッション、および起動後のモデル/労

メトリック	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
	ートし、モデルカードには 64K の出力トークンがあります ( <a href="#">Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro</a> 、 <a href="#">Gemini 3.1 Pro モデルカード</a> )	用、スキル、MCP などの API ツールをサポートしています ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント</a> )	力の保存による運用コンテキスト管理にあります ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> )
生態系統合	Google は、Google AI Studio、Gemini API、Gemini CLI、Android Studio、Google Antigravity、Vertex AI、Gemini Enterprise、NotebookLM、ワークスペース関連製品、検索 AI モード、および Google Cloud コントロールへの強力なファーストパーティエンタープライズ配信を行っています ( <a href="#">Gemini 3.1 Pro 発売</a> 、 <a href="#">ジェミニ 3 フラッシュ発表</a> 、 <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	OpenAI は、ChatGPT、Codex、Responses API、Chat Completions、Realtime サービス、Batch、Agents SDK、MCP コネクタ、サンドボックスプロバイダー、ホスト型ツール、ストレージプロバイダーの抽象化など、エージェントプラットフォームの統合が最も幅広くなっています ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント</a> 、 <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> 、 <a href="#">OpenAI Agents SDK</a> )	Anthropic は、Claude Code、GitHub Actions、Anthropic API、Amazon Bedrock、Google Vertex AI、Microsoft Foundry、MCP、管理設定、ワークロード ID、エンタープライズ権限ポリシーを通じて、開発者およびエンタープライズのコントロールプレーンに深く統合されます ( <a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a> 、 <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a> )
企業統制と信頼性	Google の最も強力なシグナルは運用規律です: モデルライフサイクルの発表、非推奨、支	OpenAI の制御は、プロダクション エージェント インフラストラクチャを重視しています。優先処理、圧	Anthropic のコントロールは、開発者の信頼境界を重視しています。権限、ハード拒否分類ルール、管理設定、認証情報のスクラビン

メトリック	Google Gemini 3.1 Pro / Flash ファミリー	OpenAI GPT-5.5	人間中心主義的クロード・コード
体制	<p>出上限、請求制御、ファイル検索の基盤、スキーマ移行、ポリシー エンジン、サンドボックス、コンテキスト圧縮、安全しきい値、および GA 前のプレビュー検証 (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>、<a href="#">Gemini 3.1 Pro モデルカード</a>、<a href="#">Gemini CLI リリースノート</a>)</p>	<p>縮、プロンプト キャッシュ、ツール検索、ホスト シェル、サンドボックス実行、マニフェスト、計算分離、ストレージ抽象化、および GPT-5.5 に関するポリシー/セーフガードの更新 (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>、<a href="#">OpenAI Agents SDK</a>、<a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリース</a>)</p>	<p>グ、ワークロード ID スコープ、MCP タイムアウト処理、プロンプトのキャッシュ、バックグラウンドフォールバック動作、GitHub Actions 構成の簡素化 (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>、<a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a>)</p>
最適なユースケース	<p>Google は、マルチモーダルなエンタープライズワークロード、ワークスペース/バーテックス中心の組織、Flash を使用したコスト重視の大容量ルーティング、長文コンテキストのドキュメント/コード分析、および Google Cloud ガバナンスに最も強い (<a href="#">Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro</a>、<a href="#">ジェミニ 3 フラッシュ発表</a>、<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>)</p>	<p>OpenAI は、モデル、API、ツール、コンピュータの使用、シェル、パッチ適用、Codex、サンドボックス、マルチエージェント SDK アーキテクチャを網羅する統一された開発者エージェント プラットフォームを目標とする場合、最も強力になります (<a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント</a>、<a href="#">OpenAI Agents SDK</a>、<a href="#">コードデックス GA 発表</a>)</p>	<p>Anthropic は、CLI の動作に対する高い信頼性、人間が関与するレビュー、長期的なコード編集、GitHub の自動化、慎重な権限管理、ターミナル優先のワークフローでの高品質な技術的推論を必要とするコードベース作業に最適です (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>、<a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a>)</p>
主なリスク	<p>Google のリスクは製品表面の断片化です。</p>	<p>OpenAI のリスクはプラットフォームの広さとコスト</p>	<p>Anthropic のリスクは、Claude Code のリーダーシップがエコシ</p>



月	グーグル	OpenAI	人間
2025 年 10 月	■■■■■	■■■■■	■■■
2025 年 11 月	■■■■■	■■■	■■■
2025 年 12 月	■■■■■	■■■■■	■■■
2026 年 1 月	■■■	■■■	■■■■■
2026 年 2 月	■■■■■	■■■■■	■■■■■
2026 年 3 月	■■■■■	■■■■■	■■■■■
2026 年 4 月	■■■■■	■■■■■	■■■■■
2026 年 5 月	■■■■■	■■■	■■■■■

プロバイダーのタイムライン

日付	グーグル	OpenAI	人間
2025 年 5 月	Gemini 2.5 Pro Preview は 5 月 6 日にコード/関数呼び出しの改善を受けました。Gemini 2.5 Flash Preview とマルチツール API の更新は 5 月 20 日に続きました ( <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	Codex クラウドエージェントは 2025 年 5 月に研究プレビューとしてリリースされ、Responses API は 5 月 20 日にリモート MCP サーバーとコードインタープリタのサポートを追加しました ( <a href="#">コーデックス GA 発表</a> 、 <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> )	Claude Code 1.0 は、0.2 のリリースが遅れた後、5 月 22 日にリリースされ、初期の機能には、Claude が作業している間のリアルタイムのステアリングとインターリーブ思考コントロールが含まれていました ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> )
2025 年 6 月	Gemini 2.5 Pro と Gemini 2.5 Flash は 6 月 17 日に安定版/GA となり、Flash-Lite Preview も同日にリリースされ	OpenAI は 6 月 3 日に TypeScript 用のエージェント SDK を、6 月 27 日に低遅延でより安定したレイテンシを実現する優先処理をリリースし	Claude Code は TypeScript および Python SDK、SSE/HTTP MCP トランスポートのサポートを追加し、6 月まで 1.0 リリースを継続

日付	グーグル	OpenAI	人間
	ました ( <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	ました ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> )	しました ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> )
2025年7月	Google は 7 月 17 日に Gemini Code Assist Agent Mode を発表し、コードベース全体の計画、複数ファイルの変更、実行前の承認、およびチェックポイントについて説明しました。Gemini API にはバッチモードと Gemini 2.5 Flash-Lite Stable も追加されました ( <a href="#">Google Code Assist のアップデート</a> 、 <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	OpenAI の公開 API 変更ログによると、6月の優先処理に続き、8月の GPT-5 ファミリーのリリース前に、7月は前後の月に比べて主要なプラットフォームイベントが少なくなっています ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> )	Claude Code は 1.0 の迅速な反復を続け、7月に v1.0.44、v1.0.51、v1.0.58、v1.0.60、v1.0.62 などのリリーストレインを出荷しました ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> )
2025年8月	Gemini API は 8 月に Imagen 4 GA、URL コンテキスト GA、および Gemini 2.5 Image Preview をリリースしました ( <a href="#">Gemini API の変更履歴</a> )	OpenAI は 8 月 7 日に API で GPT-5、GPT-5 mini、GPT-5 nano をリリースしました。Conversations API と MCP コネクタは 8 月後半にリリースされました ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> )	Claude Code は 8 月を通して 1.0 のリリースを頻繁に続け、Claude Code GitHub Action v1.0 は 8 月 26 日にリリースされました ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a> )
2025年9月	Gemini API は、Gemini 2.5 Flash プレビューの更新、ネイティブオーディオプレビュー、ロボティクスプレビュー、および	OpenAI は 9 月 15 日に GPT-5-Codex を発表し、Codex CLI、IDE、クラウド、GitHub、モバイル、API キーのワークフロー全体で利用可能にした ( <a href="#">コードックスのアップグレード</a> )	Claude Code のリリース速度は 9 月も継続し、GitHub Action v1.0 のドキュメントでは、自動モード検出、統一されたプロンプト処理、直接 CLI アクセス、および

日付	グーグル	OpenAI	人間
	<p>Batch API の埋め込みに対する OpenAI 互換性をリリースしました。Gemini CLI には、FastMCP 、 MCP Toolbox、JSON 出力、および拡張機能が追加されました (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>、<a href="#">Gemini CLI リリースノート</a>)</p>		<p>Bedrock/Vertex 互換性が強調されました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>、<a href="#">Claude Code GitHub Actions リリース</a>)</p>
2025年10月	<p>Gemini API は、コンピュータ使用プレビュー、Gemini 2.5 Flash Image GA、Google マップ GA との連携、Veo 3.1 プレビュー、ファイル検索関連ツール、および AI Studio のログ記録/データセットをリリースしました。Gemini CLI は、インテリジェント モデル ルーティング、コードベース調査サブエージェント、非対話型 MCP、JSONL ストリーミング、および Jules オーケストレーションを追加しました (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>、<a href="#">Gemini CLI リリース</a>)</p>	<p>Codex は、Slack 統合、Codex SDK、管理ツール、GitHub Actions、CLI/IDE/クラウド統合、ワークスペース分析とともに 10 月 6 日に一般提供開始されました。OpenAI も 10 月 6 日に GPT-5 Pro、Agent Builder、ChatKit をリリースしました (<a href="#">コーデックス GA 発表</a>、<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code 2.0 は 9 月 29 日に開始され、10 月のリリースでは、サブエージェントの探索、ツール制御、bash タイムアウト、MCP の改善などの非対話型およびエージェント管理機能が追加されました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>

日付	グーグル	OpenAI	人間
	<a href="#">スノート</a> )		
2025年11月	<p>Gemini 3 Pro Preview は、推論、マルチモーダル、エージェント、コーディング機能を備えて 11 月 18 日にリリースされました。Gemini CLI には、Gemini 3 サポート、todo プランニング、ポリシー エンジンが追加されました (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>、<a href="#">Gemini CLI リリースノート</a>)</p>	<p>OpenAI は 11 月に GPT-5.1、GPT-5.1 Codex バリエーション、より高速/操縦可能なデフォルト、および拡張プロンプト キャッシュ保持をリリースしました (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code 2.0 のリリースは 11 月まで続き、管理ワークフローと自動化の改良が行われ、自動化ワークフロー制御や MCP/エージェントの更新などが含まれます (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>
2025年12月	<p>Gemini 3 Flash は 12 月 17 日に Gemini アプリ、検索の AI モード、Gemini API、Antigravity、Gemini CLI、Android Studio、Vertex AI、Gemini Enterprise 全体でリリースされました。Gemini API では、Interactions API と Deep Research Agent のプレビューもリリースされました (<a href="#">ジェミニ 3 フラッシュ発表</a>、<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>)</p>	<p>OpenAI は、12 月 4 日に GPT-5.1-Codex-Max を、12 月 11 日に GPT-5.2 をリリースしました。GPT-5.2 は、xhigh 推論、簡潔な推論要約、および圧縮機能を備えています (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code 2.0 リリースには、思考モードとワークフローの改良が含まれており、Opus 4.5 ではデフォルトで思考モードが有効になり、2.0 パッチのサイクルが継続されました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>

日付	グーグル	OpenAI	人間
2026年1月	<p>Google は、Gemini 3 Pro Preview および Gemini 3 Flash Preview に、モデルライフサイクル機能、Gemini 3 エイリアスの更新、ストレージ/ファイル処理の改善、およびコンピュータ使用ツールのサポートを追加しました (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>)</p>	<p>OpenAI は、エージェントコーディングタスク向けに GPT-5.2-Codex を 1 月 14 日に Responses API にリリースしました (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code 2.1 は 1 月 7 日に開始され、1 月中にエージェント チーム、デバッグ、MCP 認証情報パラメーター、その他のプロジェクト/セッション コントロールが追加されました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>
2026年2月	<p>Gemini 3.1 Pro プレビューが gemini-3.1-pro-preview-customtools2 月 19 日にリリースされ、bash およびエージェントワークフローのカスタムツール最適化が実装されました。Gemini CLI は、2 月 27 日までに Gemini 3 のデフォルト設定、プランモード、ポリシー、カスタムスキル SDK、および 3.1 Pro のサポートを追加しました (<a href="#">Gemini 3.1 Pro 発売、Vertex AI 上の Gemini 3.1 Pro</a>、<a href="#">Gemini CLI リリースノート</a>)</p>	<p>OpenAI は 2 月に GPT-5.2 のレイテンシを約 40%最適化し、Hosted Shell、Skills、サーバーサイド圧縮、GPT-5.3-Codex をリリースしました (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code は 2 月中に、サブエージェントのワークツリ一分離、acceptEdits や plan などの権限モード、および Opus/Sonnet 4.6 時代のモデルのサポートを追加しました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>

日付	グーグル	OpenAI	人間
2026年3月	<p>Google は Gemini 3.1 Flash-Lite プレビュー、マルチモーダル Gemini 埋め込み 2 プレビュー、ファイル検索関連のアップデート、課金/支出の上限、Flash Live プレビュー、および Gemini CLI ルーティング/サンドボックス機能をリリースしました (<a href="#">Gemini API の変更履歴</a>、<a href="#">Gemini CLI リリースノート</a>)</p>	<p>OpenAI は 3 月 5 日に 100 万のコンテキスト、ツール検索、組み込みのコンピュータ使用、ネイティブ圧縮を備えた GPT-5.4 と GPT-5.4 Pro をリリースし、3月17日には GPT-5.4-mini と nano が続きました (<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Claude Code は 3 月に、作業管理、トランスクリプト検索、セキュリティ環境のスクラビング、ディープリンク、管理設定の改善を追加しました (<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>
2026年4月	<p>Google は、Gemini 3.1 Flash TTS、Gemma 4、ロボティクスアップデート、Flex/Priority 推論階層、および共同計画、視覚化、MCP サーバー、ファイル検索を備えた Deep Research エージェントアップデートをリリースしました。Gemini CLI には、サンドボックス、ワークツリー、ブラウザセッション、コンテキスト圧縮、ターミナルバッファ、ポリシー承認が追加されました</p>	<p>OpenAI は、制御されたサンドボックス、ハーネスのカスタマイズ、メモリ、スナップショット、永続的な実行、並列サンドボックス実行を含む Agents SDK を 4 月 15 日に更新しました。GPT-5.5 は 4 月 23 日にリリースされ、4 月 24 日に API に到達しました (<a href="#">OpenAI Agents SDK</a>、<a href="#">OpenAI GPT-5.5 リリース</a>、<a href="#">OpenAI API の変更履歴</a>)</p>	<p>Anthropic は、4 月 16 日に、xhigh effort 、 Claude Code /ultrareview 、 Auto Mode の拡張、タスク予算、および改善された長期コーディングパフォーマンスを備えた Claude Opus 4.7 をリリースしました。Claude Code は /tui、4 月中に、テーマ、および ultrareview CLI サポートも追加しました (<a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a>、<a href="#">Claude Code の変更履歴</a>)</p>

日付	グーグル	OpenAI	人間
	<a href="#">(Gemini API の変更履歴、Gemini CLI リリースノート)</a>		
2026年5月	<p>Google は 5 月 7 日に Gemini 3.1 Flash-Lite GA をリリースし、ファイル検索をマルチモーダル検索用に更新し、バッチ処理と長時間実行操作のためのイベント駆動型ウェブフックを開始し、Gemini CLI のメモリ、検証、音声モードのリリースを継続しました</p> <p><a href="#">(Gemini API の変更履歴、Gemini CLI リリースノート)</a></p>	<p>OpenAI は 5 月に GPT-5.5 の運用ガイドンス、エージェント SDK TypeScript サンドボックスのサポート、AI アプリケーションとエージェント用の Codex プラグイン、および return_token_budget より長い GPT-5+ 推論ウェブ検索実行を追加しました <a href="#">(OpenAI API の変更履歴)</a></p>	<p>Claude Code は claude agents、/goal バックグラウンド エージェントのフォールバック/保存動作、ワークロード ID スコープ、高度な設定コントロール、および v2.1.143 までの 2026 年 5 月の複数のリリースを追加しました <a href="#">(Claude Code の変更履歴)</a></p>

## 競争的側面による解釈

### 開発者ツール

OpenAI は、GPT-5.5、Codex、Responses API ツール、ホスト型シェル、パッチ適用、スキル、MCP、コンピュータ使用、エージェント SDK、サンドボックス、ストレージ抽象化がますます 1 つの本番アーキテクチャとして提示されるため、最も広範な統合エージェント プラットフォームを備えています [\(OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント、OpenAI API の変更履歴、OpenAI Agents SDK\)](#)

Anthropic はターミナル内で最も優れた開発者エルゴノミクスを備えています。これは、Claude Code のリリースサイクルがワークツリーの分離、バックグラウンドセッション、セッション管理、、、/goalMCP 操作、権限、労力レベル、および GitHub Actions の自動化 (claude agents/ultrareview [Claude Code の変更履歴](#)、[Claude Code GitHub Actions リリース](#))

Google は CLI とエージェント運用で急速に追いついていますが、その差別化は、単一の支配的な開発者エージェントブランドではなく、Gemini CLI、Code Assist Agent Mode、

Antigravity、Vertex AI、Android Studio、Gemini Enterprise、Workspace/Google Cloud の隣接性の組み合わせにあります ([Google Code Assist のアップデート](#)、[Gemini 3.1 Pro 発売](#)、[Gemini CLI リリースノート](#))

### 遅延とコスト

Google は最も明確な低遅延ポートフォリオストーリーを持っています。Gemini 3 Flash は Flash レベルの遅延と効率性を売りにしているのに対し、Gemini 3.1 Flash-Lite は高スループットでコスト重視のトラフィック向けに最適化されています ([ジェミニ 3 フラッシュ発表](#)、[Vertex AI 搭載の Gemini 3.1 Flash-Lite](#))

OpenAI のレイテンシに関する話は、「安価なデフォルト」というよりは「制御されたパフォーマンス階層化」であり、推論の労力、優先度/フレックス/バッチ処理、Codex 高速モード、ツール検索、圧縮、プロンプトキャッシュ、および GPT-5.5 トークン効率の主張を組み合わせている ([OpenAI GPT-5.5 リリース](#)、[OpenAI API の変更履歴](#)、[OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント](#))

Anthropic のレイテンシーに関する話は開発者制御指向です。なぜなら、Claude Code は労力制御を公開し、Opus 4.7 は xhighOpus 4.6 と比較して効率を向上させながら推論の深さとレイテンシーのトレードオフを明示的に追加しているからです ([Claude Code の変更履歴](#)、[クロード・オーパス 4.7 の発表](#))

### 多段階推論

OpenAI GPT-5.5 は、収集された情報源の中で、端末コーディング、OS 操作、ツール使用、および長時間のコンテキストでの専門的な作業において、最も引用されている集計値を持っています。特に、OpenAI は Terminal-Bench 2.0 を 82.7%、SWE-Bench Pro を 58.6%、OSWorld-Verified を 78.7%、ARC-AGI-2 を 85.0% と報告しています ([OpenAI GPT-5.5 リリース](#))

Gemini 3.1 Pro は、抽象的推論、科学的推論、マルチモーダル推論、BrowseComp、および Google の 100 万トークンのマルチモーダルコンテキストストーリーにおいて非常に強力であり、モデルカードは 77.1% ARC-AGI-2、94.3% GPQA Diamond、85.9% BrowseComp、および 80.6% SWE-Bench Verified を報告しています ([Gemini 3.1 Pro モデルカード](#))

Claude Code はベンチマーク行としてではなく、システムの結果として評価されるべきです。Claude Opus 4.7 は Opus 4.6 と比較してコーディング解像度が 13% 向上し、Anthropic のコーディング ベンチマークで平均レイテンシが高速化され、自己検証動作が実現し、xhigh effort によりハードコーディング用に調整された Claude Code のデフォルト設定が実現されています ([クロード・オーパス 4.7 の発表](#)、[Claude Code の変更履歴](#))

### 生態系統合

Google のエコシステムの優位性はエンタープライズとの近接性です。Workspace、Gemini Enterprise、Vertex AI、Google AI Studio、Android Studio、NotebookLM、Search AI Mode、Google Cloud コントロールにより、Google を標準化している組織への優先的な流通が可能

になります。[Gemini 3.1 Pro 発売](#)、[ジェミニ3フラッシュ発表](#)、[Gemini APIの変更履歴](#)) OpenAI のエコシステムの優位性はエージェントの幅広さです。ChatGPT、Codex、API、リアルタイム、レスポンス API ツール、MCP コネクタ、サンドボックス、ストレージ抽象化、コンピュータの使用、ホスト型シェルが、開発者とエージェントの幅広い基盤を形成します ([OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント](#)、[OpenAI Agents SDK](#))

Anthropic のエコシステムの利点は、エンジニアリング チーム向けのデプロイメントの柔軟性です。Claude モデルと Claude Code は、Anthropic の API、Bedrock、Vertex AI、Microsoft Foundry、GitHub Actions、MCP、および管理されたエンタープライズ設定を通じて動作できます ([クロード・オーパス 4.7 の発表](#)、[Claude Code の変更履歴](#)、[Claude Code GitHub Actions リリース](#))

### Google が機能の同等性よりも信頼性を優先している点

過去 12 か月の Google のパターンは、「エンタープライズ AI を退屈なほど信頼できるものにする」戦略を示唆しています。モデルライフサイクル日付、非推奨通知、プレビューから GA への移行、API スキーマの移行、プロジェクトの支出上限、請求プラン、ファイル検索の停止、使用制御が Gemini API の変更ログに繰り返し登場します ([Gemini API の変更履歴](#))

Gemini 3.1 Pro のリリース姿勢も信頼性の解釈を裏付けています。Google は、一般公開前にアップデートを検証し、エージェントのワークフローを継続的に進化させるためにプレビュー版をリリースしました。一方、モデルカードは、安全性のしきい値、継続的な最先端テスト、子供の安全起動しきい値、不当な拒否の追跡、および Gemini 3 Pro の安全性とトーン動作との比較を強調しています ([Gemini 3.1 Pro 発売](#)、[Gemini 3.1 Pro モデルカード](#))

Gemini CLI のリリース ノートでは、同じパターンが強調されています。Google は、モデルのアップグレードやエージェント機能に加えて、ポリシー エンジン、macOS/Windows/Linux 全体にわたるサンドボックス、ワークツリー サポート、コンテキスト圧縮、ツール検証、メモリ管理、シェル検証、プラン検査を追加しました ([Gemini CLI リリースノート](#))

トレードオフとして、個々の Gemini モデルが推論、コンテキスト、マルチモーダル性、コストパフォーマンスにおいて非常に競争力があるにもかかわらず、Google は機能統合の認識において OpenAI に、端末優先の開発者の認知度において Anthropic に後れを取る可能性がある ([OpenAI API の変更履歴](#)、[Claude Code の変更履歴](#)、[Gemini 3.1 Pro モデルカード](#))

### 意思決定ガイドンス

評価の優先順位が...	推奨プロバイダー	根拠
評価の優先順位が...	推奨プロバイダー	根拠
Google Workspace、Vertex AI、Gemini Enterprise、およびマルチモーダルなドキュメント/コードワークロードとのエンタープライズ統合	グーグル	Google は、Google 中心の企業やコスト重視のルーティングに対して、Pro および Flash ファミリー モデル全体で最も強力なネイティブ適合性を提供します ( <a href="#">Gemini 3.1 Pro 発売</a> 、 <a href="#">ジェミニ3フラッシュ発表</a> )
コンピュータ利用、シェル、パッチ適用、ツール、サンドボックス、SDK、およびコードデックスを備えた統合エージェントプラットフォーム	OpenAI	OpenAI は、最も完全なプラットフォームレベルのエージェントツールキットと、複雑な専門作業やコーディング作業向けの最も強力な GPT-5.5 のポジショニングを備えています ( <a href="#">OpenAI GPT-5.5 モデルのドキュメント</a> 、 <a href="#">OpenAI Agents SDK</a> 、 <a href="#">コードデックス GA 発表</a> )
ターミナル優先のエンジニアリングワークフロー、プルリクエストのレビュー、コードベースの編集、権限管理、長期的なコーディング	人間	Claude Code は最も成熟したターミナルエージェントワークフローを備えており、Opus 4.7 は高度なソフトウェアエンジニアリングと長時間実行されるコーディングタスク向けに特別に調整されています ( <a href="#">Claude Code の変更履歴</a> 、 <a href="#">クロード・オーパス 4.7 の発表</a> )
低遅延、大容量の推論とルーティング	グーグル	Gemini 3 Flash と Gemini 3.1 Flash-Lite は、比較対象の中で最も明確な速度/コスト区分を提供します ( <a href="#">ジェミニ3フラッシュ発表</a> 、 <a href="#">Vertex AI 搭載の Gemini 3.1 Flash-Lite</a> )
エージェント機能の収束速度が最も速い	OpenAI	GPT-5.4、GPT-5.5、ホスト型シェル、スキル、ツール検索、コンピュータ使用、エージェント SDK サンドボックス、Codex に関する最近の動向は、汎用エージェントランタイムへの急速な収束を示

評価の優先順位が...	推奨プロバイダー	根拠
		しています ( <a href="#">OpenAI API の変更履歴</a> 、 <a href="#">OpenAI Agents SDK</a> )

### 結論

OpenAI は現在、プラットフォーム統合の先駆者、Anthropic は開発者とエージェントのワークフロー品質におけるスペシャリストリーダー、そして Google は強力なマルチモーダルモデルと Flash による明確な速度/コスト階層化を備えたエンタープライズ規模の信頼性の有力候補と見なされている。Google の相対的な弱点は、純粋なモデル能力ではなく、開発者とエージェントのエクスペリエンスが単一の製品ストーリーに集約されるのではなく、多くのプラットフォームに分散しているという認識にある。Google の戦略的優位性は、このトレードオフの反対側、つまり信頼性、ガバナンス、コスト管理、モデルライフサイクルの明確さ、ワークスペース/バーテックスの分散、そしてマルチモーダルなエンタープライズ展開にある。